



その3

活動データ 第4回

メニュー：マリンスポーツ体験
日程：8月18日 土曜日
場所：小平町小平薬川河口
参加：27人(4年生～6年生)



今回の教室で使用したヨット。小さいながらもジブセールというメインセール(中央の帆)に流す風をコントロールする補助の帆が装備された、本格的なヨットです。

町外へとび出し、体験学習！

第4回目の教室となった今回のメニューはマリンスポーツ体験、今シーズン初めての町外での開催です。公民館を出発し、子ども達を乗せたバスは小平町B&G海洋センターに到着。同センターが実施する体験プログラムに参加させていただきました。実施場所は小平薬川河口で、ここは地元の人々がヨットやカヌーなどを行うマリネリジャーの拠点になっているそうです。

今回体験したのはヨット、カヤック、ローボート、バナナボートの4種類、子ども達は4つの班に分かれ、それぞれインストラクターの指導のもと初めての乗り物にチャレンジしていました。いろいろな船を一度に体験

ヨットはみなさんご存じのとおり、大きな帆に風を受けて進む船なので、風を上手に捉えることが重要で、そのためにはロープなどを使って帆の向きを変えるなどの操作をします。この操作は簡単にはできませんので今回は乗船だけでしたが、風の力をうまく利用するヨットの仕組みに子ども達は目をまわくしていました。



カヤックに挑戦する子ども達。パドルの使い方が難しく、真っ直ぐ進むのは大変です。

カヤックは前後に長く、幅は細身で下半身を全部艇内に入れて乗ります。前に進むためには両端が水かき部分になったパドルという道具を使います。このパドルで左右交互に水をかくわけですが、力加減が難しくなかなか真っ直ぐ進めませんでした。でも、しばらく練習しコツをつかむと、自由に行き来できるようになりました。

ず、おまけに進行方向が見えないため、ボートは迷走していました。一番人気があったのはバナナボート。こちらは漕ぐ必要もなく、水上バイクに引かれるバナナボートに乗って海を颯爽と走ります。水上バイクを運転するインストラクターの演出いたすので、全員ボートから振り落とされてしまいました。が、迫力満点で大喜びでした。



(右)水しぶきを上げて進むバナナボート。シルエットを見ると南国リゾート地の様。(中)4人の呼吸が大事なローボート。後ろ向きは不安です。右に行く時誰が漕ぐ？(左)帆を操作するためロープが張ってあるヨットの船上。たくさんあって複雑です。



自然教室メモ

ライフジャケット

マリンスポーツや釣りなどをはじめ、海での活動時に欠かせないのがライフジャケット(救命胴衣)。不慮の事故や転覆などにより海に投げ出された場合でも、頭を水面上に出して浮いていられます。小型船舶等の乗船時には着用が義務付けられています。その他の海遊びなどでも着用しましょう。自然教室では釣りやカヌー体験など水辺での活動もたくさんありますが、もちろんライフジャケットは全員着用です。マリンスポーツのシーズンはそろそろ終わりですが、来年はぜひ、ライフジャケットを準備して安全で楽しく遊びましょう。



ライフジャケットの重要性と着用のしかたを教わる子ども達。これで準備万端、活動開始です！